

# ハイシール

NEW

## ブチルゴム水膨潤性止水板



### 特長

#### 1 シール性に優れた ブチルゴムを使用

ブチルゴムに柔軟性があるため、被着体の凹凸にもよく追従して密着します。



#### 2 1.7倍膨潤

約1.7倍膨潤して打継ぎ部に生じる空隙を塞ぎ、優れた止水効果を発揮します。また、低膨潤倍率のため、コンクリート躯体へ悪影響を及ぼしません。

#### 3 優れた接着性

コンクリート、塩ビ管などの被着体に対しても強い接着力を発揮します。また、多少の荒れ面でも、貼付け後、押さえる事で接着できます。

#### 4 水質を選ばない

水質による膨潤性能の差はほとんどなく、安定した膨潤倍率が得られます。

#### 5 長期の信頼性

耐久性に優れたブチルゴムを配合している為、長期にわたり物性を維持します。

#### 6 温度変化に強い

低温度における弾性性能も有するため、寒冷地でも柔軟性を失わずに追従性・止水性能を発揮します。



### 用途

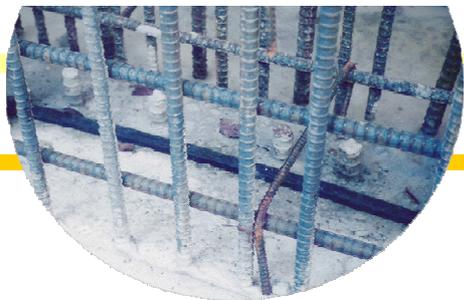
コンクリート  
打継ぎ部の  
止水

ボックス  
カルバートの  
止水

マンホール、  
下水管等、  
管周りの止水

トンネル  
打継ぎ部の  
止水

その他、  
止水工事

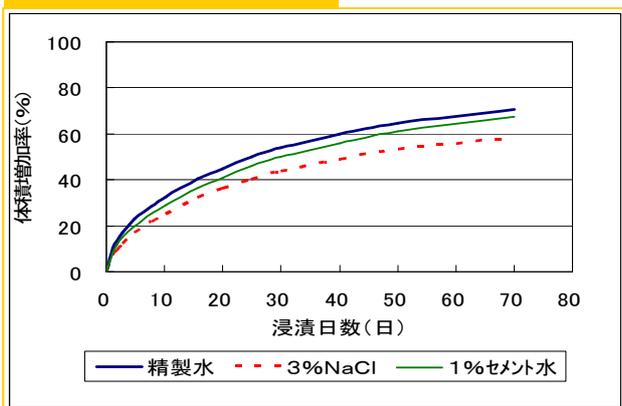


# ハイシール

## 水膨潤特性

ハイシールを長さ5cmの長さに切り試験片とする。浸漬水として精製水、3% 食塩水、及び1%セメント水を各1L調製し、それぞれの水溶液の中に試験片を浸漬する。経過日数により試験片の重量を測定して膨潤倍率(体積増加率)を算出する。

ハイシールの水膨潤グラフ



注)以上の試験結果は代表値であって規格値ではありません。

## 性状及び特性

内容	単位	試験結果	試験方法
外 観	—	黒色帯状	目視
比 重	—	1.34	JIS K 6350に準拠
針入度	—	45	JIS K 2207に準拠
硬 度	ASKER C	45	SRIS 0101に準拠
体積増加率	%	70	水道水、社内試験法

注)以上の試験結果は代表値であって規格値ではありません。

## 入 数

名称	規格	入数
ハイシール	10×20×5m巻	4巻
専用接着剤X-90	800g(約20m塗布可能)	1本

## 施 工

### 1.施工箇所の処理、清掃

ハイシールの施工箇所は、コンクリート打設時にコテ等で平滑にするか、前もって板などで平滑な面にしてください。施工箇所のレイタンス、ゴミ、錆、油等を取り除き清掃を行ってください。

また、水が溜まっている場所は、取り除き取付け箇所を乾燥させてください。



### 2.施工方法

#### ●圧着による取り付け

ハイシールを離型紙が上になるようにコンクリート面に置き、離型紙の上からよく下地に圧着し、離型紙を取り除いてください。

#### ●釘による取り付け

釘を約30cm間隔で打ちつけシール材を固定して下さい。但し、コンクリート躯体に亀裂等の発生の恐れがある場合は使用しないでください。

#### ●接着剤による取り付け

専用の接着剤(X-90標準使用量40g/m)を施工箇所に均一に塗布し、接着剤がべとつかなくなるまで乾燥させ、ハイシールをよく圧着して貼り付けてください。

### 3.施工上の注意点

\*なるべく打継ぎ部の中心に取り付け、コンクリート被りが必ず5cm以上になるようにしてください。

\*ハイシールの接合方法は、末端部を5cmラップさせて取り付けてください。

\*ハイシールと取り付け面に間隙がある場合や、結合部分が完全でない場合には、一液型水膨潤シール材を充填し空隙を埋めてください。

\*垂直面・ラス面での固定には専用接着剤を釘を平行して使用してください。

## 保存・保管

ハイシール、直射日光を避け、水のかからない場所に保管して下さい。

販売元

製造元